

第21回 北日本医科学生 オーケストラ フェスティバル

北日本医科学生オーケストラフェスティバル（通称:北オケ）

北日本医科学生オーケストラフェスティバルは、毎年3月後半に6泊7日で行なわれているミュージック・キャンプ。関東以北の医療系学生を中心とした有志により構成され、プロの指揮者やトレーナーの指導を受けながら集中的に音楽を作りあげる。合宿の最終日に演奏会を開催する。

北海道での開催は今回で5回目となる。



指揮 鈴木 織衛 Orié Suzuki



東京藝術大学指揮科、同大学院卒。遠藤雅古、松尾葉子両師に師事。

藝大卒業と同時に、同付属音楽高校講師に就任し、10年間芸高オーケストラの指揮者を務めた。

1996年、ベルリンでのDeutsches Kammer Orchestra(ドイツ室内管弦楽団)

定期演奏会でコンサート指揮者デビュー。同年、東京フィルハーモニー交響楽団

「Fendi Concerto Classico with Jose Carreras」で日本デビュー。

その後、多くの日本のオーケストラに客演指揮している。

2007年より(株)ソニー・ミュージックアーティスツに所属。

2010年、オーケストラアンサンブル金沢専任指揮者に就任。

メゾソプラノ 谷口 睦美 Mutsumi Taniguchi

高知県出身。東京芸術大学卒業。同大学院独唱科修了。2001年第2回大阪国際コンクール声楽部門入選。

同年第11回日本クラシック音楽コンクール東京地区本選大学の部奨励賞を受賞。

2006年4月、二期会オペラデビューとなったペーター・コンヴィチユニー演出『皇帝テイトの慈悲』セスト役で大成功を収め、彗星のごとく現れた逸材に数多く賞賛の声が寄せられた。

テレビ朝日「題名のない音楽会21」にも出演し、艶やかな『サムソンとデリラ』デリラのドラマティックな名唱が視聴者からの反響を呼ぶなど、その華のある舞台姿と存在感が聴衆を魅了した。二期会会員。

北オケの演奏を聴いて・・・

DVDで拝見したこのオーケストラは、とても学生のものとは思えない。素晴らしい。

各大学から集った腕っこきの学生オケマン達の、鈴木織衛氏の下、1週間の合宿で鍛え上げた若いエネルギーに溢れかつ集中力の高い演奏は、将来の医療の世界で活躍する頼もしい姿とオーバーラップする。

今回の選曲も意欲的で、ハイレベルな演奏を楽しめそうだ。お勧めである。

NPO法人北海道国際音楽交流協会副理事長 竹津宜男